

青葉中



これがイチオシ

学校に住む妖精アオバ

青葉中学校には「アオバ」というマスコットキャラクターがいます。青葉中の卒業生がデザインしました。全校生徒の投票により選ばれ、募金活動などで活躍しています。

学校に住む妖精です。名前には、明るいあいさつの「あ」、思いやりのところの「お」、場をわきまえた行動の「ば」の思いが込められています。見た目のかわいらしさから「アオバちゃん」と呼んでいます。私たちは、生徒を温かく見守ってくれるアオバと、これから共に歩んでいきます。

学校名 石巻市立青葉中学校
所在地 石巻市門脇一番谷地51の10
創立 1990年
電話 0225(94)6220
校長 平塚 真一郎
生徒 183人

リボンに感謝の思い込め

青葉中学校では地域の方々と関わり、福祉活動に力を入れています。3年前から「シトラスリボンプロジェクト」に取り組んでいます。新型コロナ禍の医療従事者への感謝と、差別や偏見をなくすための活動です。「地域・家庭・学校」の三つの輪が「叶結び」で結ばれ、願いがかなうといわれています。

青葉中では、ボランティア団体「青中お助け隊」を中心に作成。「医療従事者の方々に感謝」「コロナ禍をみんなで乗り切ろう」「学校や家庭、地域であいさつを増やそう」の願いを込めました。地域の皆さんや各施設に贈りました。吹奏楽部は毎年冬、隣の介護施設にエールを送るコンサートを開きます。施設の方々は入学式や卒業式に優しいメッセージをくださり、私たちを見守ってくれています。昨年は、一緒に「あすという日」を歌いました。会場は、笑顔で満ちあふれていました。これからも地域の方々と関わりながら、みんなの幸せを支えていきたいと思っています。

作成したシトラスリボンを掲げる生徒たち



編集委員 大森貫大、高屋歩夢(3年) 工藤愛莉(2年)
指導教員 三浦和真

地域に根差す福祉活動

わが校わがまち スクール通信



今回は 新城小(気仙沼市) 三条中(仙台市)

明るく元気な声で笑顔に

下増田小学校は、あいさつ運動に取り組んでいます。昨年年度のスローガンは「聞こえる声で・自分から・明るく・心をこめて」。計画委員会を中心に児童会で決めて運動を進めました。毎週水曜日と金曜日は「あいさつ運動デー」としました。登校時間に1〜6年生がクラスごとに交代で昇降口に並びます。その日の担当のクラスは、あいさつリーダーとして、「おはようございます!」と明るく元気な声を響かせます。さらに、あいさつへの意識を高めるために、計画委員会が廊下や階段にポスターを貼ったり、CMを作って放送したりして、全校児童に呼びかけました。あいさつをさらさらしつかりと返す姿や、相手より先にあいさつをしようとする人がどんどん増えてきました。校内には笑顔もあふれて、気持ちよく過ごすことが出来ます。これからも、あいさつを大切にしてみんなで楽しく生活し、地域の方々にも進んで声をかけられるように頑張っていきたいです。

あいさつ運動デー

下増田小



これがイチオシ

縄跳び大会 楽しく挑戦

下増田小学校では、毎年冬休み明けに「縄跳び大会」と「縄跳びギネス」が行われます。縄跳び大会は、全学年全員で持久跳びと個人種目跳び、クラスごとに長縄跳びに挑戦します。

縄跳びギネスは、休み時間や放課後を使って、種目ごとに挑戦したい人が参加します。学校新記録を出すと「ギネス」に認定されます。記録を伸ばすために児童が練習に励みます。

縄跳びを通して、冬でも積極的に体を動かし、楽しく体力アップを図り健康に過ごすことができます。

学校名 名取市立下増田小学校
所在地 名取市美田園7の23の3
創立 1873年
電話 022(382)3227
校長 沢田 茂実
児童 683人



あいさつ運動に取り組むクラスの様子

編集委員 阿部京史、出雲麻央、大内遥佳、風間夏花、工藤比奈乃、佐藤雪乃、玉城舞花(3月卒業、中学1年) 指導教員 大久保孝志、佐々木佳枝、高田悠子